



じゃがいもずきん
「きぼう」くん

新年度がスタートしました。就職や転勤、引っ越しなど新居での新たな生活が始まった人はもちろん、今までと同じ家や部屋でも、好みの家具やずっと欲しかった電化製品を購入し設置したりなど、家の中の雰囲気を変え心機一転する良い時期になりました。ですが、ちょっと待って！あなたの家は、大丈夫ですか？

雨や雪などの気象の場合なら、天気予報などで事前にこれから発生する災害に備えることはできます。しかし、地震の場合、今の科学では100%、地震の発生年月日を予測することは不可能です。いつ起こるか分からない地震に備えて、まずは、一番簡単な地震対策『家具の固定』からはじめ、家の中に、どんなに大きい地震が起きても慌てることなく、安心して避難できる安全なスペースを確保しておきましょう！

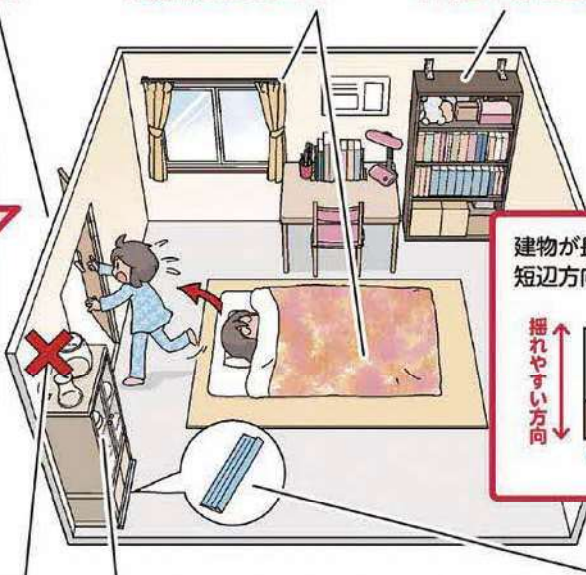
地震に備え、『家具の配置』や『家具の固定』を見直しましょう!!

□家具などを配置する場合は、出入口や就寝位置と重ならないように注意しましょう。

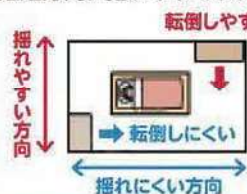
□カーテン、カーペットや寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

□背の高い家具や本棚は、L型金具などで壁に固定しましょう。ダンス・本棚などに収納する時は重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

□万が一の時のために運動靴やスリッパを用意しておきましょう。



建物が長方形の場合、構造的に短辺方向に揺れやすくなります。



□家具の上には、ガラス製品などの割れやすい物は置かないようにしましょう。

□家具の扉などにガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムをはりましょう。

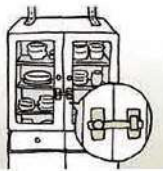
□家具や本棚の下に転倒防止のシートを置き、壁にもたせ気味に配置しましょう。

テレビ・パソコン



□できるだけ低い位置に固定して置き(家具の上はさける)、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

食器棚



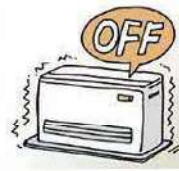
□L字金具や支え棒などで固定し、棚板には滑り止めシートを敷きましょう。扉は開かないように留め金具をつけましょう。

ダンス・本棚



□L字金具や支え棒などで固定しましょう。上下2段タイプの場合は、つなぎ目を金具で連結しましょう。

暖房機器



□耐震自動消火装置付きのを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

部屋のスペースに余裕がある場合は、大きな地震が起きても何も倒れてこない、何も落ちてこない安全な空間(スペース)を作ることがオススメです。